



本当に欲しかった瞬間を手に入れる。

©Bence Máté 2015

9種から選べる 6K/4Kフォト



「6K PHOTO」は、6Kサイズ(横6,000×縦3,000前後)の映像が有する画素数(約18メガ)と同程度の有効画素数を持つ4:3、3:2の写真用横縦比の映像から、写真を選び出し、保存する高速連写撮影機能です。

1 画素数と連写速度から選ぶ「6K/4Kフォト」



画素数 18M 連写速度 30コマ/秒

6Kフォトが実現する、高画素・高速連写

通常の写真と同等の画素数で高速連写ができます。
A1程度までプリントできます。



横縦比	画素数
[4:3]	4992×3744 (18M)
[3:2]	5184×3456 (18M)



画素数 8M 連写速度 60コマ/秒

秒間60コマの高速連写

他の6K/4Kフォトに比べて連写速度が2倍。より高速な連写を求める場合に最適です。

4Kフォトでは、どの横縦比を選んでも約800万画素の写真で保存することができます。A3程度までプリントできます。



画素数 8M 連写速度 30コマ/秒

長時間の高速連写に最適

他の6K/4Kフォトに比べて必要なデータ容量が小さいので、長時間におよぶ記録をすべて残す場合に適しています。

[4:3] 3328×2496	[3:2] 3504×2336	[16:9] 3840×2160	[1:1] 2880×2880
-----------------	-----------------	------------------	-----------------

2 撮影スタイルから選ぶ「6K/4Kフォト」



撮影シーン/被写体 スポーツ、飛行機、鉄道など

連続した動きのベストな一瞬をとらえる

シャッターボタンを押している間、高速連写で撮影します。
「連写したがピッタリなコマがない!」といった不満は、高速連写の6K/4K連写が解消します。

6K/4K連写なら



高速連写で
ピッタリの瞬間をとらえる

通常の撮影



ピッタリのコマがない!



撮影シーン/被写体 植物、動物、子どもなど

不意に訪れる決定的な瞬間をとらえる

「S/S」とは「Start/Stop」の略で、シャッターボタンを押すと連写撮影を開始し、もう一度押すと終了する、長時間の連写に適した操作を表しています。

自然現象などの先の読めない被写体のシャッターチャンスを、長時間の連写撮影でとらえます。

6K/4K連写(S/S)なら



長い時間撮り続けることで
シャッターチャンスをとらえる

通常の撮影



タイミングを逃がす!



撮影シーン/被写体 ボールを投げる瞬間など

タイミングがピッタリの写真を作る

タイミングが「早かった」、「遅かった」といった経験はありませんか?
6K/4Kプリ連写では、シャッターボタンを押した瞬間の前後約1秒の画像から「ピッタリ」な瞬間を選べます。

6K/4Kプリ連写なら



ピッタリな瞬間を選べる

通常の撮影



タイミングが合わない!

撮影後にピントを操作する「フォーカスセレクト/フォーカス合成」

フォーカスセレクト

ピントの位置を選ぶ

6K/4K連写でピント位置を変化させながら撮影できます。

撮影後に画面内の位置を選び、その位置にピントが合った写真を保存できます。

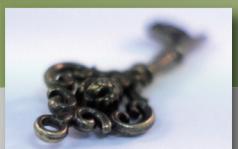


フォーカス合成

ピントの合う範囲を広げる

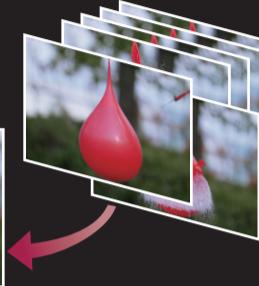
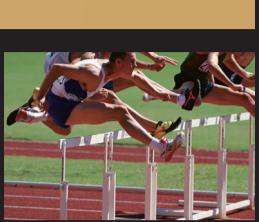
フォーカスセレクトで撮影した画像から複数の写真を合成し、ピントが合う範囲を広げた1枚の写真を作ります。

被写体の手前から奥までピントの合う写真を、撮影後に合成できます。

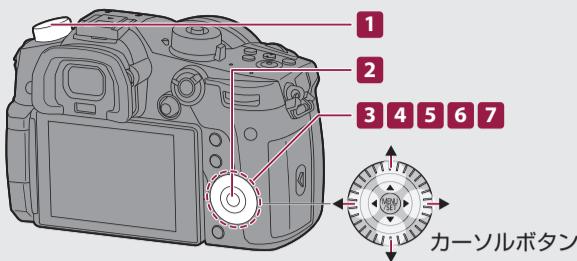


ご使用の前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

「6K/4K フォト」・「フォーカスセレクト」の操作については
裏面をお読みください

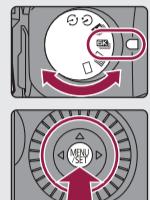


1 6K/4Kフォトを選ぶ



撮影時はUHS Speed Class 3のカードをお使いください。

1 ドライブモードダイヤルを [6K] (6K/4K フォト) に合わせる



2 [MENU/SET] ボタンを押し、撮影メニューを表示する

撮影メニューの選び方

- 1 ▲ボタンを押す
- 2 ▲/▼ボタンを押す、[CAMERA] (撮影) メニューを選ぶ
- 3 ▶ボタンを押す



3 ▲/▼ボタンで [6K/4K フォト] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

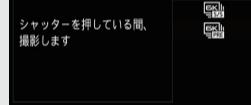
4 ▲/▼ボタンで [画素数/連写速度] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

5 ▲/▼ボタンで画素数と連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

6 ▲/▼ボタンで [撮影方法] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

7 ▲/▼ボタンで撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

設定後は、シャッターボタンを半押して、撮影画面を表示してください。



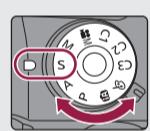
■ 6K/4K フォトが苦手な撮影シーン

室内での撮影

蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

被写体ブレを抑えて撮るにはシャッタースピードを速くします

1 モードダイヤルを [S] に合わせる



2 前ダイヤルまたは後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

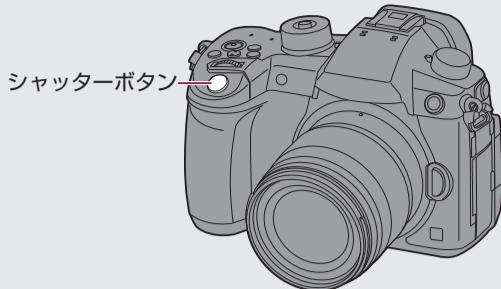
- 晴天の屋外でのシャッタースピードの目安：1/1000秒以上
- シャッタースピードを速くすると、ISO感度が高くなり、画面にノイズが増えることがあります。



本機の温度やバッテリーの消耗について

- 6K/4K プリ連写を設定時や [プリ記録] を設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。撮影するときだけ、設定してください。

2 6K/4K フォトを撮る



記録方式 [MP4] 形式の 6K/4K 連写ファイルが保存されます。

6K/4K 連写

1 半押しする 2 全押ししたままにする 3 ボタンから指を離す



全押しから約0.5秒後に撮影が開始されるので、早めに全押ししてください。

6K/4K 連写 (S/S)



写真を選び保存するときの目印を記録する

撮影中に [Fn2] ボタンを押すと、マーカーを付けることができます。再生中は、マーカーを付けたコマを素早く表示できます。

ループ記録を設定する

MENU ボタン → [撮影] → [6K/4K フォト] → [ループ記録 (4K フォト)] → [ON]

古いデータを消しながら記録します。カードを交換せずに長時間撮影できます。

- 約2分ごとに分割し、最新の約10分間(最大約12分間)を記録します。

それ以前の部分は消去されます。

[6K 18M] に設定時、[ループ記録 (4K フォト)] は使用できません。

6K/4K プリ連写



被写体が中央にないとき

AF/AE ロックでピントや露出を固定してください。

全押しする前から記録する(6K/4K連写、6K/4K連写(S/S))

MENU ボタン → [撮影] → [6K/4K フォト] → [プリ記録] → [ON]

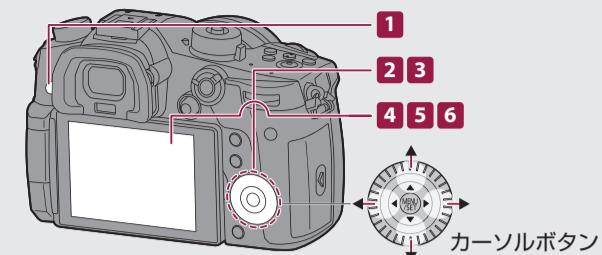
全押しする約1秒前から記録し、シャッターチャンスを逃すことを防ぎます。

以下の条件でファイルは分かれで保存・再生されます。(撮影は中断しません)

SDHCメモリーカード使用時：ファイルサイズが4GBを超える場合

SDXCメモリーカード使用時：連続記録時間が3時間4分を超える場合、ファイルサイズが96GBを超える場合

3 写真を選び 保存する



写真はJPEG形式で保存されます。

オートレビューを設定している場合は、撮影後に写真を選ぶ画面が自動で表示されます。

1 [再生] (再生) ボタンを押す



2 ◀/▶ ボタンで6K/4K 連写ファイルを選ぶ

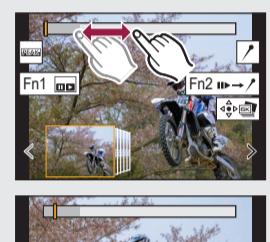


6K/4K 連写ファイルには [▲] または [▲] が表示されます。

3 ▲ボタンを押す

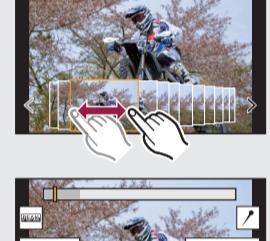
- 6K/4K プリ連写で撮影した場合は、手順 5 へ進んでください。

4 スライドバーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ



5 ドラッグし、保存するコマを選ぶ

- [<]/[>] をタップし続けると、連続してコマ戻し/コマ送りができます。



6 [Fn1]/[Fn2] をタッチし、写真を保存する

- 確認画面が表示されます。



■ 撮影後に6K/4K フォトを補正する(ポストリファイン)

写真のゆがみを補正する(ローリングシャッター低減)

写真を保存するときに、電子シャッターによるゆがみ(ローリングシャッター)を補正できます。

1 上記の手順 6 の保存の確認画面で、[ローリングシャッター低減] をタッチする

- 補正をしても効果がない場合は、確認画面に戻ります。

2 [保存] をタッチする

- 補正すると画角が狭くなる場合があります。

写真のノイズを軽減する(6K/4K フォトノイズ低減)

MENU ボタン → [再生] → [6K/4K フォトノイズ低減] → [AUTO]

高いISO感度で撮影することでノイズが発生する場合、写真を保存するときに低減します。

フォーカスセレクトで撮影する

撮る

撮影時はUHS Speed Class 3のカードをお使いください。

記録方式 [MP4] 形式の動画で記録されます。(音声は記録されません)

フォーカス合成を行う場合は、三脚の使用をお勧めします。

1 ドライブモードダイヤルを [] (フォーカスセレクト) に合わせる



2 構図を決めて、シャッターボタンを押す

1 半押しする 2 全押しする



撮影は自動で終了します。

画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示(●)が点滅し、撮影できません。

撮影終了までは、被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。

画素数を選ぶ

MENU ボタン → [撮影] → [フォーカスセレクト]

6K 18M

画素数の多い写真を作ります。

4K 8M

[EX テレコン(写真)] による拡大ができます。

ピント位置を選んで写真を保存する

1 [再生] (再生) ボタンを押す



2 ◀/▶ ボタンでフォーカスセレクト撮影した連写ファイルを選ぶ

- フォーカスセレクト撮影した連写ファイルには [▲] が表示されます。

3 ▲ボタンを押す

4 ピントを合わせる位置をタッチする

- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合は、赤い枠が表示され、写真を保存できません。

・[PEAK] をタッチするとピントが合った部分に色をつけて表示します。(ピーキング) タッチするごとに検出レベルが切り替わります。([PEAK] (低) → [PEAK] (高) → [OFF])

5 ピントを微調整する

① [+] をタッチする

② スライドバーをドラッグし、ピントを微調整する

6 [Fn1] をタッチし、写真を保存する

- 写真はJPEG形式で保存されます。

フォーカス合成して写真を保存する

1 「ピント位置を選んで写真を保存する」の手順 4 のピントを合わせる位置を選ぶ画面で、[] (Fn1) をタッチする

2 合成方法をタッチする

[自動合成]

合成に適した写真を自動で選び、1枚の写真に合成します。

- 近距離側の写真を優先して選びます。

- 選択すると合成が実行され写真が保存されます。

[指定範囲合成]

ピントを合わせる位置をタッチする

- 2点以上の位置を選んでください。

- 2点のピントの間にピントがある位置も一緒に選択され、ピントが合う範囲が表示されます。

- 選択すると不自然な写真に合成される場合がある範囲、または選択できない範囲が、グレーで表示されます。

- もう一度、タッチすると選択が解除されます。

4 [Fn2] をタッチし、写真を合成し保存する

- 写真はJPEG形式で保存されます。

